

1 送信用メールのパスワード変更手順

定期的にメールのパスワードが変更される環境下で、crossnoteからメールの自動送信機能を使う場合、パスワード変更に併せてcrossnoteサーバーの構成ファイルを修正し、新しいパスワードを設定する必要があります。

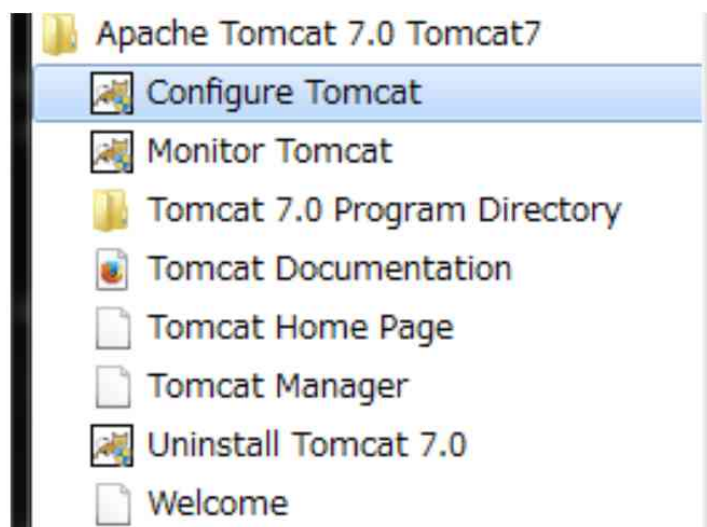
1-1 サーバーでの作業 (Windows Server編)

(1) crossnoteサーバーとなっているWindows Serverに管理者権限でログインする

管理者権限でログインするのは、crossnoteの設定ファイル(crossnote.conf)の変更をするためのです。設定ファイルへの書き込み権限のあるユーザーであれば大丈夫です。

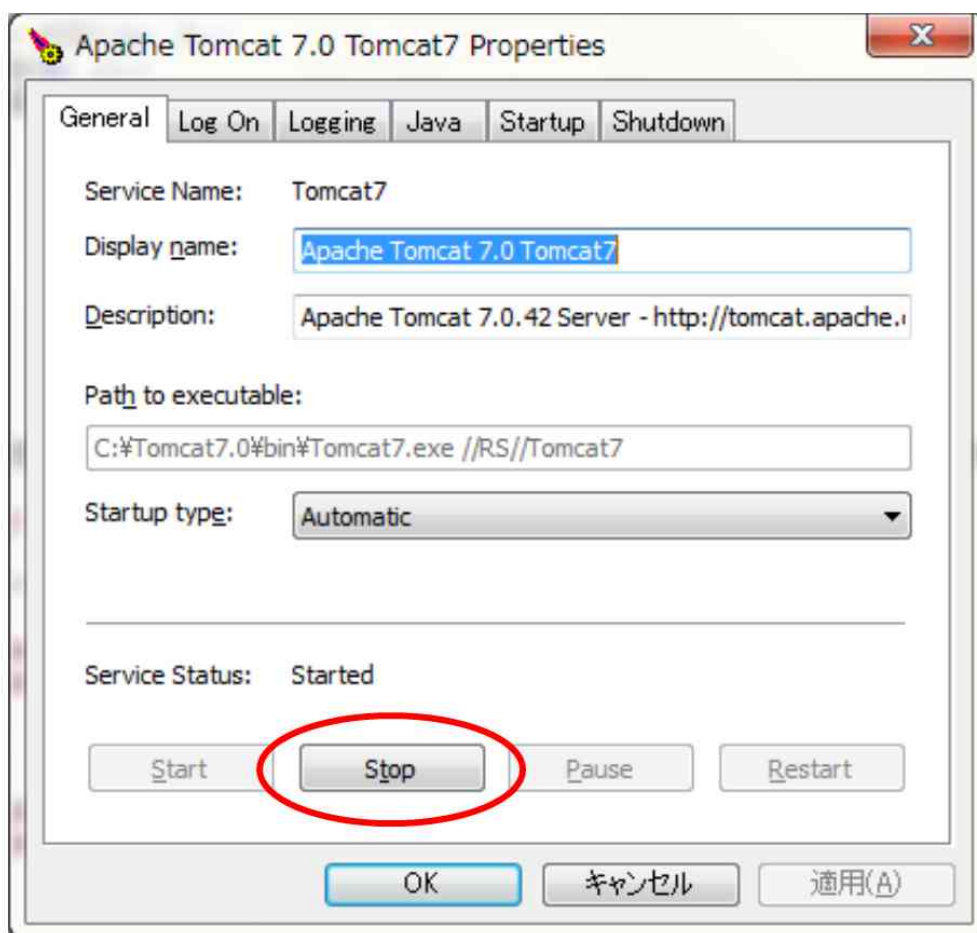
(2) Tomcatを止める

スタートメニューから「Apache Tomcat 7.0 Tomcat 7」に含まれている「Configure Tomcat」を起動します。



起動した際、ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、「はい」を選択してください。

Apache Tomcat 7.0 Tomcat7 Properties画面が起動しますので、Stopを押してください。



しばらくすると、Service Statusが Stoppedの状態となります。



(3) crossnote.confファイルを修正する

crossnote.conf構成設定ファイルをノートパッドなどのエディタで開いてください。ファイルは通常、以下の位置にあります。（なお、以下のパスの\マークは日本語環境では¥マークです）

```
C:\var\crossnote\crossnote.conf  
または  
d:\var\crossnote\crossnote.conf
```

ファイルの以下の行部分のsmtp.auto.pass=を新しいパスワードに書き換えます。

```
smtp.auth.user=....  
smtp.auth.pass=(新しいパスワード)
```

修正後、保存してください。

(4) Tomcatを起動する

Apache Tomcat 7.0 Tomcat7 Properties画面のStartを押して、Tomcatを起動します。

(5) crossnoteのサーバー・ログを確認する

サーバーのログをノートパッドなどで開いて、再起動後にエラーが発生していないか確認してください。（再起動前にTomcatが止まる際、エラーが発生している場合がありますが、これは問題ありません）

ログファイルは以下の位置にあります。

```
C:\var\crossnote\storage\logs\axis2.log  
または  
D:\var\crossnote\storage\logs\axis2.log
```

再起動以降の部分にERRORやExceptionなどが無く、以下のようなログが最後に出力されていればOKです。（INFO DefaultConnectionListener-Listening on port ...の行）

```
2014-02-03 21:01:16,863 [HttpListener-8443-1] INFO DefaultConnectionListener -  
Listening on port 8443  
2014-02-03 21:01:43,446 [pool-1-thread-1] INFO RssPublisher - RSS publisher  
executing...  
...
```

(6) ログインできること、およびメールの送信ができることを確認する

crossnoteに正常にログインできること、およびコミットメールなどでcrossnoteからメールの送信ができることを確認してください。